THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2021-2022)
国際会長主題：“Y's Men with the World”「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題：“Make a difference beyond the 100th”「100 年を超えて変革しよう」
西日本区理事主題：“Challenges for the future” 「未来への挑戦」
中西部部長主題：”Love your neighbor as yourself!”「隣人愛を実践しよう！」
クラブ会長主題：「ずっと一緒に！・・・新しい仲間を見つけつつ」

Monthly Bulletin
第 298 号
2021 年 11 月

聖書のことば
「自分を低くして，この子供のようになる人が，
天の国でいちばん偉いのだ。」
マタイによる福音書18章4 節
選者 藤井 弥生

11 月例会プログラム

日時：2021 年 11 月 13 日（土）14：00～16：00
場所：大阪 YMCA 土佐堀会館 及び Zoom

司会 鳥居 翠

1. 開会点鐘 保田 圭子会長
2. ワイズソング：奏楽のみ
3. 聖句朗読 藤井 弥生
4. ゲスト、ビジター紹介 保田 圭子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 卓話 *「コロナ禍における留学生の今」*
   古谷 佳之さん（大阪 YMCA 国専門学校 学科長 なかのしまクラブ担当主事）
7. お誕生祝い
8. ニコニコ献金 ドライバー
9. YMCA の歌
10. 閉会点鐘 保田 圭子会長

例会当番（B） 受付当番（A）

10 月 統 計

第１例会出席者数		例会出席率		B F 統 計			
メンバー	11 名	出席者	11 名	日本	150ｇ	累計	954 ｇ
ビジター	2 名	メイキャップ	2 名	外国	0ｇ	累計	76 ｇ
ゲスト	名	合 計	13 名	現金	円	累計	円
コメット	1 名	在籍者	14 名	提供者：	杉浦	和田	
合 計	14 名	出席率	92.9 %				

10 月例会報告

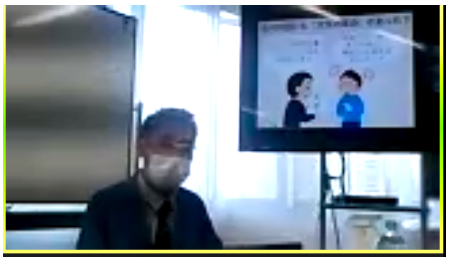
「ハンコのおはなし」

國友 朝子

10 月 9 日午後 2 時から YMCA 会館に於いて 10 月第１例会が催されました。今回はハイブリッド例会と言うことで ZOOM での参加者が中西部部長の牟大盛氏はじめ数名あり、会場での参加者とあわせて賑やかな例会となりました。今回も残念ながらお弁当も御菓子もありません。粛々と例会は進められました。

まず 10 月の聖句です。コリント人への手紙からの数節ですが、何度読んでも私には理解不能な文言です。やはり聖書はむつかしいと再認識の時でした。

今月の卓話は茨木クラブ会長の野田将弘氏による「ハンコ、業界人から見た日本文化の特徴と問題点」です。昨今、河野大臣のおかげでハンコが話題となっていますが、それはたいへん狭くて表面的な範囲でのハンコの取り扱いのことであり、もっと他の、例えば印鑑証明とか実印などのことは全く考慮されていない、らしいです。サインとなると日本には花押という文化がありました。一昔前の総理大臣は花押を使っていたのでは？？でも一般市民が花押は使えないし、やっぱり印鑑、もとい、印章でしょう。印章は三文判とか認印とか使い分けているように私たちは長い印章文化を持ちながら、思うほどハンコに拘束されていないらしいことが、大臣が提案したペーパーレス社会の件で明らかになりました。



そう言えば日本よりもっともっと漢字大国の中国では印章などは使っているのでしょうか？

野田さんは英語公用語化論者との

ことですが私はそれについては反対いたします。自国語でどのような学問、知識をも学べることの素晴らしさを手放すことはありえないのでは。諭吉をはじめとする明治時代の先達、メンターの努力を忘れてはいけない。文語訳聖書の素晴らしさ、一度お読みになってみてくださいな。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

他クラブ・部訪問記

土佐堀クラブ９月例会

和田　早苗

９月 21 日（火）19:00 ～　Zoom 開催、「古代近江と渡来人の故郷に思いを馳せて」と題し岩田ワイズが卓話者でした。6 月例会時にパワーポイント不具合のため中止となっており、皆が心待ちにしていた９月例会でした。私は当クラブではメネットとして参加しています。６月の例会時から楽しみに訪問してくださった藤井、國友ワイズ（なかのしま）も一緒に楽しみました。

定刻に始まり、丹吾会長開会宣言、点鐘、依然として奏楽だけのクラブソング、司会川岸ワイズよりゲスト、ビジター紹介、工藤ワイズ聖句朗読。パワーポイントのサポートとして大阪 YMCA で IT 関係に強い船戸さんが協力し、担当主事小路さんも手伝いました。内容的にはとてもこの紙上で書くことは無理なほど、写真やデータが１００枚強の盛り沢山のお話です。

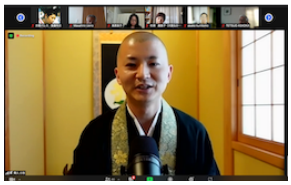
現在の韓国の扶余が百済の国であったころから、我が国との交流は沢山あり、人や、モノや文化が持ち込まれていた足跡を岩田ワイズは興味をもって、自分の足と目で確かめる行程を話されました。例えば忠清南道の寒山寺に現存する３重の石塔が近江にある鬼室神社の石塔と酷似している、宮大工と呼ばれる技術、人工の池の造り方、岩に彫られた磨崖仏、オンドルの遺跡が大津近辺にあるなどのことを確認しておられるとのこと。大阪でも枚方，交野、寝屋川あたりの地名、人名にもその当時の痕跡が見られるとの話も、興味深くお聞きしました。岩田メンの好奇心、探求心、確認作業をいとわない研究熱心さに圧倒されるひと時でした。最後に故奥田ワイズは 49 日法要も終わり京都の菩提寺に納骨を済まされたとの報告がありました。

六甲部部会

杉浦　眞喜子

９月 25 日六甲部部会がハイブリッド形式で行われました。西日本区ほとんどの部会が、延期または中止となる中、ハイブリッドながら決行されたことにまず敬意を表しながら興味津々で Zoom 参加しました。

部会は３部構成、1.式典、2.講演、3.交流と間に休憩はあるものの 14 時から予定を延長しての 17 時近くまで、お食事なしですので、とにかく中身の濃い充実した部会でした。第１部は、対面とオンラインを組み合わせて、通常の部会の「式典」が進められ、第２部は、大本山須磨寺副住職の小池陽人様の「おもてなしの極意」という講演。地域に開かれたお寺を目指して人と人との繋がりを大事にしながら活動をなさっていらっしゃる方で、人との関わり方など、分かりやすく楽しくお話くださいました。



ここまでで既に（気持ちが）満腹状態なのに、さらにいよいよ第３部、お馴染みのセンテニアルの芝田さん達のバンドをバックに、我がなかのしまメンバー吉田さんも出演のフラ、いつものことながら、楽しく鑑賞させて頂きました。その後は、参加者紹介やアピールタイムの後、「交流」の時間。Zoom でのグループミーティング、私は三田クラブの女性３人や京都部やびわこ部の方々とグループ。あまり顔馴染みのない方々とのミーティングでしたが、結構楽しく交流出来ました。

と、とにかく盛り沢山のプログラムを、それもハイブリッドでスムースに進められた大会実行委員の方々に拍手を送りたい思いで、少々疲れを覚えながら Zoom から退出しました。

懐かしい元メンバーの方からのお便り

小八木　晴代　さんより

Y's なかのしまの皆様　　お久し振りです。
ここ数年の夏は異常の暑さです。

ちまたには、この暑さに対処するべき、速乾等の衣類が出回っていますが、老人の肌には仲々しっくりしません。コロナ禍で、閉じ込められる状態になり、４月頃から、私にとっては宝物、私以外にはゴミを徹底的に片付け開始。古い物がザクザク出て来ます。私の得意を発揮して昔の夏用をリメイク、こんな状態で片付けているので、仲々はかどりませんが、楽しいひとときです。作った衣は、蒸し暑い日本の気候を包み込み身体にまとわりつかず、爽快です。次の夏は浴衣で過ごそうかなあと、ひそかに想いを馳せています。　これから来る冬は、着物作家大塚末子さんに教わった大きなモンペの冬バージョンで暖かく過ごしたいです、

なかのしまで取得したジャム作り、いちじく、りんご、柑橘類、嬉しい時季をむかえます。　知られない私の命日まで、健康寿命を一日でも伸ばせる様、穏やかにゆっくり楽しくです。　なかのしまに係わる事で出来た友、たまにしか会いませんが、ほっこりします。有難いことです。

色んなことを思い出す機会を下さったこの「手紙」に感謝。　皆さま与えられた日々、元気に過ごしましょう。
おおきに、有難とうさんです。

こやぎ　はるよ

ミャンマーに思いを寄せて【5】

杉浦 眞喜子

私が初めてミャンマーへ行ったのは、1997 年 12 月 26 日から翌年の 1 月 6 日までの 11 日間のツアー、HITO センターとなかのしまの合同ツアーでした。なかのしまからはギルグさん、戸田亜理子さん、松下さんと私（残念なことに私以外今はみんなメンバーではありませんね）の 4 人の参加、その他に大阪 YMCA の「ミャンマー縫製指導プロジェクト」で既に現地に入っていた山地さんと吉岡さん（アシスタントとして）も加え、 6 名でいろいろなプログラムに参加しました。

その頃のミャンマーは、未だ軍事政権下で、大学も閉鎖され、アウンサン・スーチーさんは軟禁状態にあったようです。

それまで東南アジア、いわゆる発展途上国と呼ばれていた国に行ったことのなかった私には、ミャンマーという国の第一印象は衝撃的でした。入国した翌朝のヤンゴンの街の様子、絶え間なく鳴る車の警笛の音、トラックの荷台に屋根がついただけのバスに鈴なりの人々、綿シャツにロンジー、裸足にパナを履いて自転車をこぐ男の人・・全てが異様に見えました。観光地バガンの遺跡や景色は素敵でしたが、そこを走るバスは「〇〇観光」と日本語で書かれた、昔日本で走っていたそのままの姿、勿論そんなにいいホテルに泊まっていませんので、ちょっと出しているとすぐ冷たい水になってしまうシャワー、などなど。

しかしこの 11 日間のツアーを終えるころ、私は「ミャンマー大好き人間」になっていました、ミャンマーが私にとって「特別な国」となっていました。特にマンダレーで、たくさんのミャンマーの方々との交流がありました。何語でしゃべっていたのか？よく覚えていないのですが、こちらカタコトの英語と日本語、あちらビルマ語（多分？）とカタコトの英語、そして身振り手振り。

ホームビジットでおいしいお料理を頂いたこと（最初は苦手だった香辛料のきついお料理もだんだんおいしく感じるようになったのです！）、村の演芸会のような場でかわいい子供の踊りを見学したこと、大晦日の夜一緒にキャンプファイヤーを囲んだこと、そして何故かいつもどこでも最後はみんなが踊り、歌いまくるのでした。最初はただ見るだけだった私たちも、最後は一緒に踊りの輪に入りました。

マンダレーを発つ日の朝、カレン族の教会の日曜礼拝に出席しました。よく知っている讃美歌を、カレン語に合わせてギルグさんが英語で、私は日本語で共に歌ったことを思い出すと、今も胸が熱くなります。

「私と『教会』と『YMCA』」

山佐　亜津子

洗礼を受けた母教会を 30 歳の頃に離れて後、随分長く色々な教会を転々と、礼拝出席だけしてきました。そして 6 年前に日本基督教団小阪教会に出会い、ようやく教会員として心も立場もこの教会に落ち着いている今現在です。

母教会を離れた理由はここではさて置き、教会放浪の旅も長くなるとあまり望ましくないと自分でも考え、きちっと籍を置いて定着し、責任を持って奉仕するところを決めたいと、その視点でしばらく教会を探していました。どんなところを希望していたかと言いますと、まず賛美歌がオーソドックスであること、人との距離感が自分にとって適度と感じること、そして YMCA 関係者がいないこと（笑）を求めていたのでした。別に日曜日まで仕事関係者と会いたくはないとか、嫌だという訳ではありません。ただ YMCA とまったく無関係の世界も持っていたいというだけのことでした。この小阪教会は、YMCA が教会の敷地内の別館を借りて「YMCA こさかデイサービスセンター」を運営しているところであり、YMCA こさかと教会とが協働で行事を行なったり、牧師や教会員もこのセンターにボランティアで関わっています。しかも教会員の中にはスタッフや河内ワイズのメンもおられ、私が希望していた条件からすれば完全に NG のはず、なのですが…。何と週報には祈りの課題として YMCA のことが上げられていたり、礼拝後の報告時には S メンが YMCA の宣伝をしておられたり、掲示板には YMCA コーナーがあったり、それらを目にした私は敬遠するどころか、すっかり感激してしまったのでした。

やがて自分の最初の思惑に反して、YMCA とぴったり密着したこの小阪教会に転籍することとなるのですが、その時はまだ自分が今の社会福祉事業部に着任し、YMCA こさかも責任範疇となることは想像もしていませんでした。 まったく自分の勝手な想いで教会や仕事を選んできたのですが、いつも後になってそれらは神様のご計画であることに気づかされます。教会の長老として、また同時に YMCA 社会福祉事業部責任者として、非力ながらも教会と YMCA の協働の働きに仕えさせていただいていることを、心から幸せに感じているこの頃です。

うれしいおしらせ！

吉田由美さんが，前期の部長として「エルマークロウ賞」を受けられることになりました。「エルマークロー賞」は，その年度中でいい働きをした部長に与えられる賞です。なかのしまの誇りですね！

由美さんおめでとう！

= お知らせ =

☆ 小八木晴代さんより BF 用使用済切手を頂きました。

☆ 大岸弘子さんより郵送用切手を頂きました。

共に感謝です。

ニコニコ献金 10月 17,500円

〈ニコニコメッセージ〉 ― 10 月 ―

☆ 本日は貴重なお時間を頂きありがとうございます。先週技能グランプリ OSAKA にてようやく一位をとることができました。（大阪茨木クラブ　野田将弘）

☆ 久し振りに集まった例会は何かウキウキです。コロナも大分おとなしくなりましたので上手におつき合いしましょうね。（今井）

☆ ズーム参加では会の全体を把握できません。こんな年もあったと記憶にとどめます。早く日常にもどれますように。（江見）

☆ ニャンコ（21 歳）を天国へ見送ったら温泉へ行こうね、なんて薄情なことを言ってた私たち。彼女は９月にこの世を去ったけれどぜんぜんおしりが上がらず。夫も私も日々ふと気配を感じながら暮らしている。ヨロヨロしながらも最後まで自分でトイレに行った。びびりだったけれど心根はピンとしていたんだなぁ。こんな最後を迎えたいと二人とも思ってるよ、キキちゃん。さよならね。（國友）

☆ ８月末から９月初めにかけて、白内障の手術をしました。すごくよく見えるようになり、快適です。（杉浦）

☆ ややこしい毎日です。転居の片付けがおわりません。パソコンもつながらないし、お手上げです。（武井）

☆ いちにちもはやくコロナがしゅうそくしてほしいです。（武井美帆）

☆ 久しぶりに ZOOM 例会でなく土佐堀 YMCA で茨木クラブ野田会長「はんこ」のお話お伺いし、なかのしまの皆さんにお会いでき、楽しいひとときでした。（藤井）

☆ 梅田に久しぶりに出かけました。人出はわかりません、何しろ梅田へは何か月ぶりか忘れるくらいです。目的のものを購入したら何所へもよらずに土佐堀へ・・・まだまだ人込みは恐いから。気にせずに買い物を楽しみたいなぁ～！（藤好）

☆ 驚くほどの感染者数の減り方です。なぜかわからない、またすぐ第６波が来るなどと言われていますがとりあえずコロナの晴れ間、例会ができました。土曜日の昼間、ハイブリットでやる、例会。なかなかいいものです。いろいろできるものですね。（保田）

☆ 今月の例会卓話は『ハンコの業界人から見た特徴と問題点』でした。　最近は実印や、認印は使う機会が非常に少なくなり、今日の卓話で慎重に考えて押印することに再認識を強くした。（吉岡）

☆ 昨年計画をして延期になっていた、「京都トゥービークラブ溝口メン卓話」の予習第２弾、潜伏キリシタン長崎・五島・平戸のツアーが 11 月に決行です。12 月例会は、自分の足で確かめた場所のお話になると、ツアーも卓話も心待ちにしています。（吉田）

☆ 隣の屋根（現在空家）の修理、下見に来ていた工務店の社長にばったり会いました。このところお世話になることはなかったのでご無沙汰でしたが、我家の外壁ぬりを決心し依頼しました。（和田）

YMCAニュース

★ 第 335 回早天祈祷会

日時：2021 年 11 月 19 日（金）7:30～8:15
※朝食会はございません。
証し：川岸 清(かわぎしきよし)さん
（元学校法人大阪 YMCA 理事）
場所：大阪 YMCA 会館　10 階　チャペル
※新型コロナウイルスの感染状況により、中止の可能性があります。

★ YM/YW合同祈祷週集会 2021

日時：2021 年 11 月９日（火）18：30～19：30
会場：大阪 YMCA
参加費：無料（礼拝の中で献金を捧げます）
プログラム：　第１部…礼拝　　メッセージ
第２部…活動報告
※恒例のお食事を伴う交流会は行いません。

★ 大阪 YMCA 大会

日時：2021 年 11 月 23 日（火・祝）10:00～12:30（予定）
会場：オンライン
内容：大阪 YMCA の活動報告、会員表彰者・国際奨学金受給者紹介、交流プログラムを予定しています。交流プログラムは、みつかる・つながる・よくなっていくの生の声、大阪 YMCA のユースによるパネルディスカッション等、オンラインでも、共に考え参加していただける内容です。
参加方法等、開催の詳細は大阪 YMCA ホームページにてお知らせいたします。
※内容は変更する可能性がございます。
お問い合わせ…大阪 YMCA 大会事務局
（大阪 YMCA 統括本部内）
【TEL】06-6441-0894　【FAX】06-6445-0297
【E-mail】info@osakaymca.org

10 月第２例会報告抄

日時：2021 年 10 月 20 日（水）19 時～
場所：Zoom にて
出席者：13 名

1. 「2022 中西部新年会」について、基本的なことの確認を行った。
2. 後期の例会について自由に話し合い、下記のように今期中は、今のやり方を続けていくことを確認。さらにいくつかのプログラム案が話合われた。
   第１例会：第２土曜日昼、食事なし（ハイブリッド）
   第２例会：第３水曜日（Zoom）

◇11 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*
國友　朝子　４日

編　集　後　記

新型コロナの感染者が大きく減少して、何だか街が賑やかになってきたみたいです。　ただ元に戻すのではなく、アフターコロナのワイズ活動のあり方を模索しつつ、私たちの活動を進めていきたいものですね。